

中世木モニタリング調査報告 5月

日時：2021年5月28日（金） 10時～13時

場所：南丹市日吉町中世木地区

天気：晴

参加者：10名 + 前田敦子（主催者）



中世木の田んぼは水が入り田植えをする所と終えた所と入り混じっていた。

ナゾの水生物

生き物たちも動き始めた。雨水のたまった水槽にボウフラが元よく動き回っていた。その中に黒く、ずんぐり丸い動きの緩慢な生物が同居していた。何か分からないので、Aさんは持ち帰り観察する事にした。その夜Aさんからメールが入る。入れ物を見たら羽化して蚊になっていた！Mさんが調べたようにオニボウフラだった事。つまり蚊の蛹だった！驚くべき報告に観察を続ける素晴らしさを教えて頂いた。

畑の観察

4月から6週間経過。イチリンソウは姿を消し、他の草花は場所を奪い合うように背丈をのばしていた。中でもコウゾリナの黄色の花・ノアザミの鮮やかな紫色の花・アカソのぐんぐん伸びる枝が目をひいた。その中に、アカショウマ・カラスビシャク・オトギリソウ・ドクダミ・ウツギ・コナスビ・ノコンギク・ヨツバムグラ sp.・アオツツラフジ・カエデドコロ等もはっきり確認出来るようになった。ホタルブクロの花は次回に期待。

林道の観察

ヤマガシユウの花・エビヅルのつぼみ・クリ・ヤマコウバシ・シロモジ・ウリカエデ・コナラ・ガマズミ・エノキ・テリハノイバラ・クマノミズキ等の葉が茂りその姿がより鮮明になった。今まで柔らかな葉だったフジやダンコウバイも茂り、



ヤマガシユウ花



エビヅ

光を求め合うように競争しあい陣地を広げていた。その緑の葉の中にウツギの白い花が映えていた。木の下には、フタリシズカ、オヤブジラミの花、ジシバリの黄色の花は一面咲き誇っていた。ヨツバムグラ sp.・トウバナ・ヨウシュヤマゴボウ・マツカゼソウ・コメツブツメクサ等地面を分け合っていた。

谷の観察 蔓性植物がわかった！



オカタツナミソウ

4月の観察で手の届かない谷の向こう側と高い木の上の蔓性植物がわからなかった。今回谷向こうの蔓性植物は花を咲かせていた。サルナシだった！手前の蔓性植物は葉が白くなっていた。マタタビと確認出来た時は感激。定期的に観察をする醍醐味を味わった。

オカタツナミソウ（写真左）・ヤマタツナミソウ・ミズタビラコの青い花がすすすがしかった。京都府準絶滅危惧種のヤマガシユウを谷でも何か所かで見ることができた。アワブキ・コクサギ・ハナイカダ（葉の裏の主脈が途中まで太いと教えて頂く）・ニガキ（噛んで味を確認。にがい！）今回確認出来た木々。

笛吹神社周辺

ツルカノコソウの丈が伸びすぎていて分からなかった。継続観察の大切さを知った。記 正木



ジシバリ

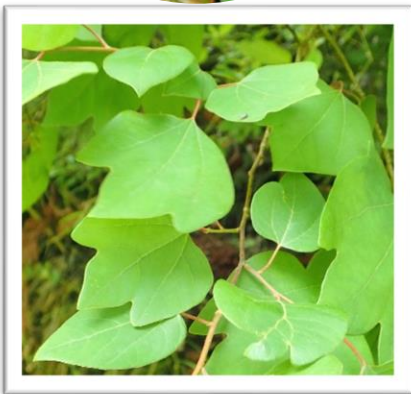


コナスビ

ウツギ



山エリアの観察



ダンコウバイ



ニガキ



フタバネゼニゴケ
胞子嚢が
ウサギの顔みたい